

番号	講座名	講座の内容	開催時期	対象
1	足柄の仏像を好きになる！	2023年秋の特別展「足柄の仏像」の子ども向け解説です。足柄地方に伝わる仏像を通して、地域の文化財への理解を深めます。あわせて仏像の手の形・足の組み方・服を実際にやって、きてみるワークショップをおこないます。	7月～11月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
2	中世の美術（絵画）	室町時代の山水や花鳥の絵に、室町文化のすがたを探ります。何がどのように描かれているのか。誰が描き、どういった人々が鑑賞したのか。ともに考えながら、室町文化への理解を深めます。（鎌倉時代の絵画についても、ご要望により開講可能です。）	7月～3月	小学校・中学校・高等学校
3	中世武士の鎌倉	鎌倉時代の「武士」と聞いて、みなさんはどのようなイメージを抱きますか？。もしかしたら、そのイメージは間違っているかもしれません・・・。武士の常識・非常識について、教科書にも取り上げられないような資料（画像等）を使いながら、わかりやすく解説し、中世武士について理解を深めていきます。	1月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
4	鎧兜の移り変わりから見る歴史	鎧兜の変化は戦いのやり方や社会のあり方の変化を反映しています。講師が鎧を着用して、主に中世、平安後期から戦国時代の鎧兜の時代による変遷や作り方、社会の変化について紹介します。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校
5	モノのかたちに見るかながわの文化交流	陶磁器、漆器、金工品などの工芸品には文字情報がほとんどありません。しかし、器形、色、素材、技法をじっくり見ると、その時代の文化を読み取ることが出来ます。鎌倉彫りと中国漆器、瀬戸焼と中国陶磁、真葛焼と各地の輸出陶磁器など、かながわゆかりの工芸と様々な地域の工芸を比較しながら、かたちの影響関係やその時代の価値観を探ります。主に中世と近代の工芸を扱います。	7月～12月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
6	江戸時代の浮世絵を学ぶ	海外でもファンが多い江戸時代の美術、浮世絵について、その歴史、木版画の技術、題材、歌麿、北斎、広重など浮世絵師の魅力などをお話しします。また、神奈川県内には東海道の宿駅や観光地（金沢八景・江の島・大山・箱根）として親しまれた名所が多く、浮世絵に繰り返し描かれたこともお話しできます。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
7	浮世絵と文明開化	江戸時代の美術として親しまれている浮世絵ですが、文明開化以降もリアルタイムな情報や流行を伝えるメディアとして重要な役割を果たしました。明治時代に出版された浮世絵を中心に、その特徴や魅力についてお話しします。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
8	旅のよそおいとかながわの名所	江戸時代の旅の道具を紹介しながら、当時の人々がなぜ旅に出たのか、どこを旅したのか、どんな風に旅をしたのかを考えます。神奈川県内の名所をめぐる記された道中記や紀行文についてもご紹介します。	7月～11月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
9	絵図で見る江戸時代	スライドショーで当館所蔵の日本図・関東図・武蔵国相模国絵図などを見ながら、江戸時代の特徴についてお話しします。学校のある地域が描かれた絵図などを見ながら、現在も残っている寺社や江戸時代に作られた石仏なども紹介し、江戸時代から続く地域の歴史について考えます。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
10	日本の開国と異文化交流	ペリー来航、横浜開港など、日本の開国過程ならびに、幕末明治期における異文化交流の諸相について、アクティブラーニング形式で講義を進めます。講義内容（テーマ）については、担当教員と綿密な調整のうえ決定します。授業とこの講座がどのような関係にあるかを含め、希望する具体的な講義内容を記載のうえ申込をお願いします。※この講座は授業を代替するものではありません。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
11	かながわの地質と歴史を学ぶ	当館学芸員と県立生命の星・地球博物館の学芸員が共同で担当する、社会科と理科で学ぶ内容を合わせた文理融合の講座です。岩石・石材を素材に、各学校が所在する地域の地質的な特徴と、そこで展開された「石」にまつわる人間の営みを、地域の歴史として一体的に捉えて学習することができるプログラムです。両館の学芸員の日程を調整する必要もありますので、開催希望日まで余裕のある日程でお申し込みください。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

12	自由民権運動と地域社会	自由民権運動にも地域によって特色があります。博物館に収蔵されている「演説指南書」（演説に関するハウツー本）などの資料写真から自由民権運動の基本的な流れについて、また神奈川県と別地域の運動について比較しながら自由民権運動と地域について考えます。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校
13	印刷と私たち	私たちの日常生活で、とても身近な印刷物。その技術の変遷を通じて、私たちの歴史と文化を考えます。「社会」と「美術」が合体したような授業ですが、具体的なテーマはご希望を受け付けたいと思います。ご希望がなければ、現在の新聞をネタに、明治へさかのぼりながら、印刷が私たちの生活にとってとても重要であること、歴史で学ぶ事柄とも深くかかわっていることを、ともに考えたいと思います。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
14	身近な地域の現代史	主に1923（大正12）年の関東大震災から現在までを対象に、身近な地域の現代史を考えます。例えば、昭和初期に描かれた神奈川県鳥瞰図（全長約4mのパノラマ絵図）の複製や、1964（昭和39）年に開催された東京オリンピックの写真などを通じて、学校周辺の様子を紹介します。	12月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
15	昔の道具を調べよう	現在の生活と比較しながら、高度経済成長期以前の生活を調べ、使用していた道具と生活の変化を考えます。	1月～3月	小学校・特別支援学校
16	昔の台所と食べ物	博物館の展示室に再現された民家の台所の様子や、昔の食べ物の複製資料などを画像で紹介しながら、昔と今の食生活の違いについて考えます。	7月～3月	小学校・特別支援学校
17	博物館・学芸員の仕事	県立歴史博物館では職員がさまざまな仕事をしています。資料を探して、調べて、展示して、解説する学芸員以外にも、本の修理や写真撮影、体験学習を企画する職員もいます。博物館や学芸員の仕事を楽しくお話します。	7月～3月	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校